

きらり

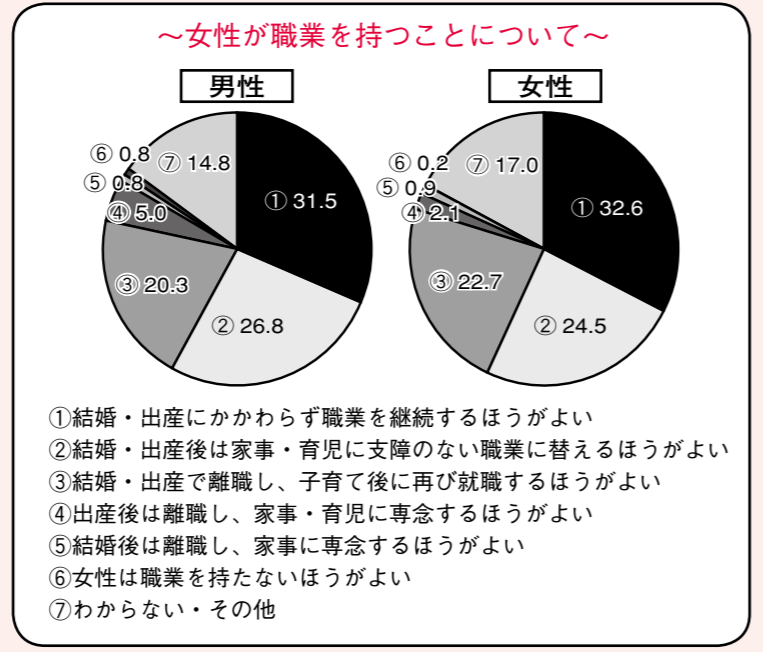
おばま 人

男女共同参画社会を目指して

■問い合わせ 総務課 ☎内線 353

平成 21 年度に市内の男女各 500 人に男女共同参画の意識調査をしました。その中の一つで、「女性が職業を持つことについて」という項目では次のような結果が出ました。

「家事、育児に専念するほうがよい」「職業を持たないほうがよい」の意見は少なく、女性が働くことについては浸透しています。しかし、男性優位の組織運営や性別による役割分担意識などが根強くあるため、まだまだ多くの課題が残っています。男女が平等に安心して働くことができる社会を目指すため、ひとりひとりの意識改革が必要です。



田中 さやかさん (27歳・池河内)

「大学では農業土木を専攻し、その知識を生かしたいと思っていました。日本はその分野ではすでに先進国なので、海外も含めて進路を考えていたんですよ。JICA ボランティアは、実務経験がないわたしでも活動できると知り参加しました」ときっかけを話し

「大学では農業土木を専攻し、その知識を生かしたいと思っていました。日本はその分野ではすでに先進国なので、海外も含めて進路を考えていたんですよ。JICA ボランティアは、実務経験がないわたしでも活動できると知り参加しました」ときっかけを話し

とらえ方次第で何でも楽しめることを学びました

「現地での農作は、人力に頼ることが多く、水の確保も大変でしたが、その分、収穫時の現地の人のうれしそうな顔がすごく心に残りました。そこでの生活はとても楽しかったですね。日本とは違う毎日の「ビックリ」がおもしろいんですよ。三カ月間の停電や水不足、価値観の違いなど苦労することもありましたが、現地の人から学んだ「とらえ方次第で楽しめる」で、日本では絶対味わえない貴重な体験でした。この二年間、自分自身をすごく成長させてくれたことに感謝しています」と当時の生活を思い出し、楽しそうに話します。

「今後は海外での経験を生かし、農業土木関係の仕事に就きたいですね。振り返ってみると、現地でわたしが貢献できたことよりも、現地の人がわたしに与えてくれた、体験できたことの方が多いいのではないかと思うんですよ。もう少し成長し、役に立てる自分になれたら、また行ってみたいですね」

●あなたの周りの「きらり輝いている人」「生き生きしている人(グループも歓迎)」を紹介してください。情報課 広報・広聴グループ ☎53・1111 内線 373

俳句

小浜市俳句作家協会

峡の闇引きしぼりたる鹿の声 小浜神田 島田 玲子
遠吠の犬静まりし秋の暮 三分一 小畑 公
電柵をはずせば近く鹿の声 上野 泉代 良子

短歌

中名田短歌会

「オッス」と片手をあげて帰り来る 坊主頭の男の孫清し 和多田 芝 美代子
梢さす茜たちまち消えゆきて 山里静かに闇に閉ざさる 和多田 芝 幸子
手の平に切りある豆腐すべり落つ ふはりと浮きて香る味噌汁 和多田 宇多 蔚乃

山柳

若狭番傘川柳会

試練だよ地に足つけて飛び越える 奈胡 中島セツ子
嵐あり風あり海も人生も 東市場 前川 正子
検診の結果やれやれ生き延びる 遠敷 中村志津子

広告

広告

広告

広告

広告

広告